資料④

観光創造ビジョン・岸和田　中間検証の経過について

I. 中間検証の目的と実施内容

1. 目的

令和5年度策定の「観光創造ビジョン・岸和田」における中間検証に伴う、本市の観光動向調査、分析、効果検証及び報告書（提言）作成等を実施するもの。本市における観光施策等の成果を定性的・定量的に把握するにあたり、主要なKPI及び効果測定項目を定めるため、観光統計データの収集、整理、分析を行い、当該データをもとに既存の観光施策の改善や新たな観光施策の立案へと繋げることで、効果的な観光振興施策を実施し、計画を推進することを目的とする。

2. 調査の概要と状況

現在は、市の観光動向に関する各種調査の実施及び集計、市場動向、大阪観光局提供データや本市の施策・事業の実施記録等のとりまとめ・分析を行っている。

【市の観光動向を把握するために実施している調査】

調査名称	調査対象	調査目的
非来訪者 WEB アンケート調査	大阪府・和歌山県・兵庫県・奈良県・京都府・愛知県・東京都・神奈川県在住者で本市非来訪者（モニターアンケート） 非来訪者 622人	計画のターゲット対象地域の本市への非来訪者を対象に市の観光に関するニーズ、イメージ、来訪意向、非来訪理由等を把握し、KPI の達成状況および計画に掲げる課題の検証を行う
観光動向アンケート調査	観光施設・宿泊施設・飲食施設等来訪者 回収：300 件（うち観光目的は147件）	観光の目的、満足度、消費額等の実態を把握し、KPI達成状況を測定するとともに、コンテンツの評価や来訪者の行動特性を明らかにする。
宿泊事業者アンケート調査	市内宿泊施設　20 施設 （先行して 10 施設） 回収：7件	市内宿泊施設における宿泊者数、宿泊可能室数、宿泊目的等を把握し、宿泊需要の実態を把握するとともに、宿泊者を市内での観光や消費につなげるうえでの課題を明らかにする。
観光施設・事業者アンケート調査 【調査実施中】	（一社）岸和田市観光振興協会会員、（一社）岸和田シティプロモーション推進協議会　賛助会員、岸和田ブランド認定品　取扱企業	観光客アンケートや既存のデータでは把握しにくい、来訪者の状況、事業者の観光振興への取組み状況、市への要望等を確認し、市の受入体制の状況における現状と課題を明らかにする。
観光施設等口コミ調査	じゃらん、トリップアドバイザーに掲載されている観光施設、民間施設	留置調査等では捉えにくい来訪者の自由な意見と施設別の経年的な評価を把握し、岸和田市の観光における課題とポテンシャルを明らかにする。また、KPIの達成状況および計画に掲げる課題の検証を行う。

II. 効果検証の途中経過

1. 観光創造ビジョン・岸和田で定める KPI の達成状況

①1 年間の主要観光施設及びイベントへの観光入込客数

達成

R4	R5	R6	R7	R8 年度 目標値	R11年度 目標値
262万人	276万人	309万人	314万人	280 万人	300万人

②岸和田市を訪問した際の観光客の満足度

達成※条件が異なる

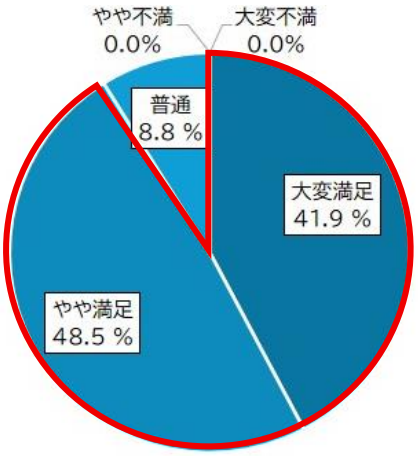
R5	R8	R8 年度 目標値	R11年度 目標値
51. 0%	90. 4%	75. 0%	98. 0%
【調査対象】 過去に岸和田市に来訪経験がある人のうち、観光目的の方(日帰り) (WEB モニターアンケート)	【調査対象】 岸和田市来訪者のうち、観光目的の方(日帰り) (観光動向アンケート調査)		

③岸和田市に来たことがない方の来訪意欲

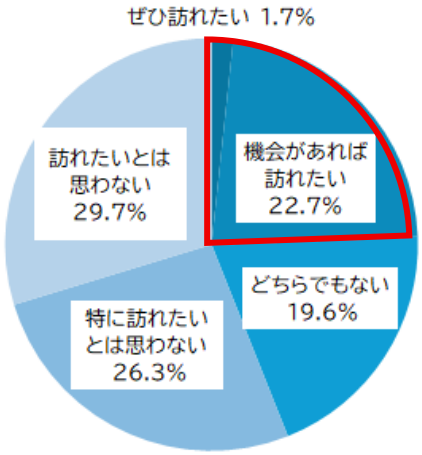
未達成

R5	R8	(参考)R8	R8 年度 目標値	R11年度 目標値
29. 6%	24. 4%	25. 1%	44. 0%	58. 0%
【調査対象】 2次計画におけるターゲット地域(近畿)の本市への非来訪者(WEB アンケート)	【調査対象】 前回と同じエリアの本市への非来訪者(WEB アンケート)	【調査対象】 左＋3次計画で新たにターゲットとして加えた愛知・首都圏を含む	—	

②観光客満足度【観光動向 Q25　n=138】



③非来訪者来訪意欲【非来訪 WEB　Q9　n=414】

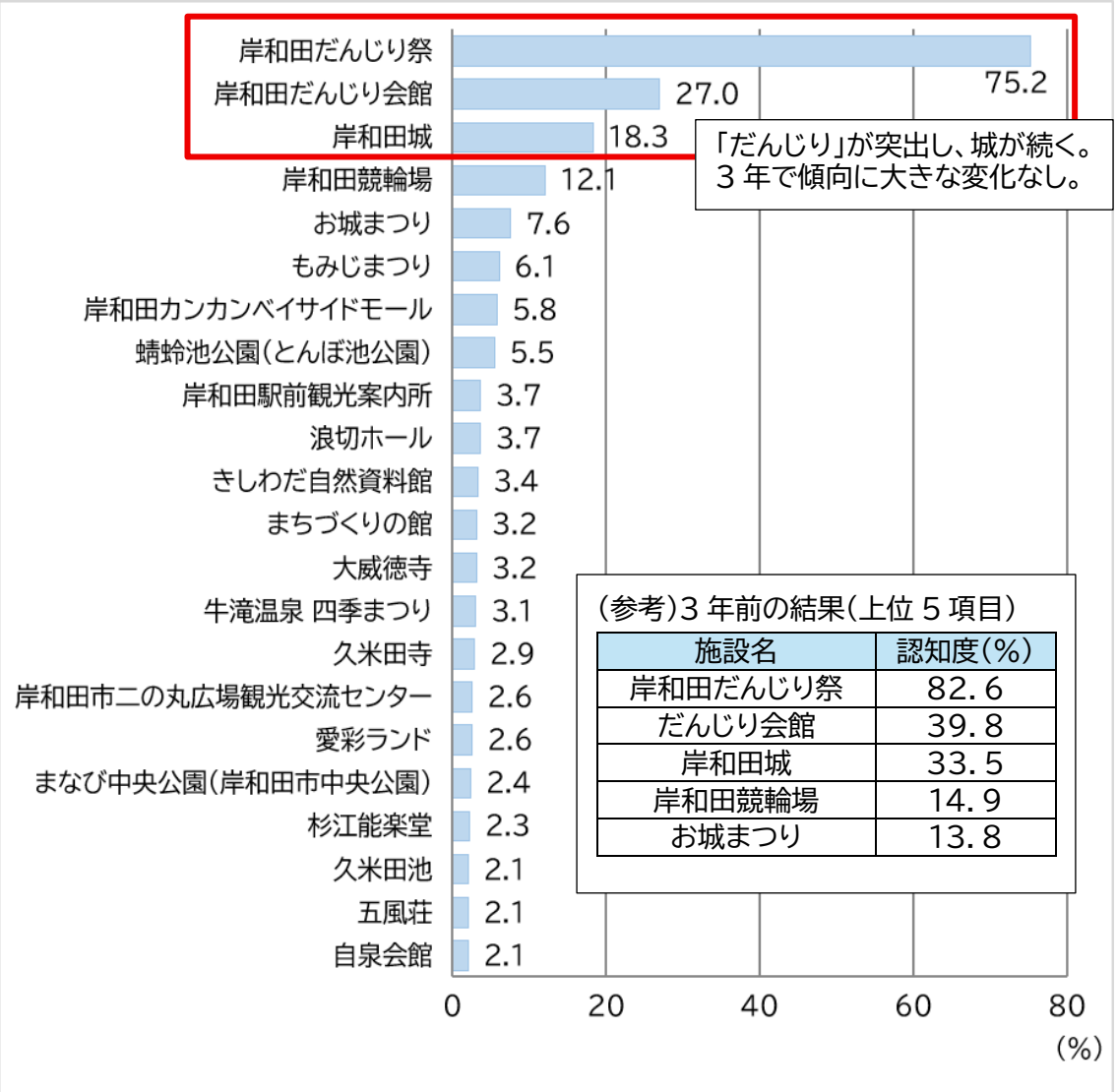


2. 中間検証で実施する効果測定項目の状況

重要視する成果	想定される効果測定項目
A 観光コンテンツのプロモーション活動の強化	・観光入込客数(人回) ・岸和田市の主要観光拠点の認知度
B 観光コンテンツの認知度・満足度の向上	・観光消費額単価(円／人回) ・観光消費額(円) ・岸和田市の主要観光拠点の認知度 ・観光客の平均滞在時間(時)
C 来訪者数の増加	・観光入込客数(人回) ・観光消費額(円) ・市内宿泊可能室数(室) ・宿泊者数(人)

A 観光コンテンツのプロモーション活動の強化

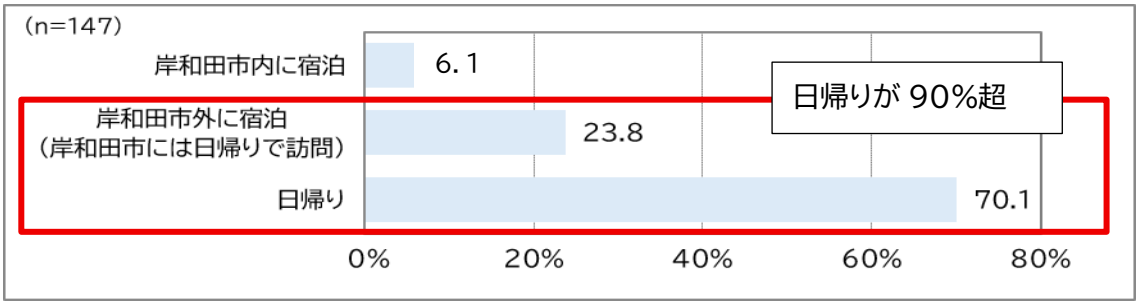
①主要観光拠点の認知度【非来訪者 WEB Q7 n=622※愛知・首都圏を含んだ数字】

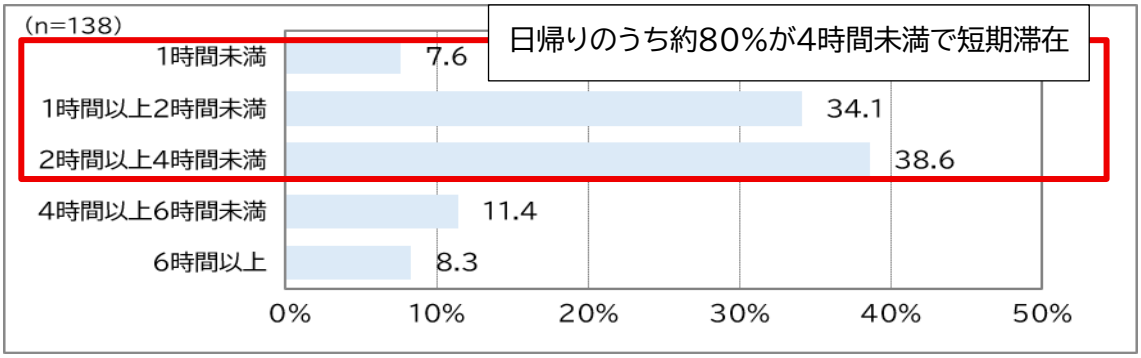


B 観光コンテンツの認知度・満足度の向上

観光消費額単価、観光消費額⇒現在集計中

観光客の平均滞在時間【観光動向 Q12、Q13 n＝147】





C 来訪者数の増加

市内宿泊可能室数【宿泊事業者 Q4 n＝7】

室数	回答件数
20 名以下	4 件
21 名～60 名	0件
61 名～100名	1 件
101 名～200名	1 件
200 名以上	1 件

なお、市内には、市で把握していない民泊・ゲストハウス・トレーラーハウス等を含め、約20の宿泊施設があることが今回の調査で分かった。(民泊はインバウンド向けが中心)
宿泊者数については、回答件数が出そろったのち、改めて稼働率等を踏まえて精査する。

3. 各種調査結果の概要（現段階の調査結果から分かることを抜粋。詳細版は後日意見聴取シートとともに提供）

①：岸和田市来訪者の観光満足度は高く、特に個別施設の評価が高い。

―来訪者の満足度は90.4％で、再訪意欲も非常に高く、「ぜひもう一度訪問したい」が41．7％、「機会があれば訪問したい」が57．6％となっている。（観光動向調査）

―来訪者の満足度の各項目では、「観光スポット・見どころ」が84．0％と突出している。また、口コミ調査において、各施設の評点は多くが 4.0 前後で、民間の体験型施設を含め、市の観光の強みとなっている。一方で、口コミの新規投稿が増加はしていない。（観光動向調査、口コミ調査）

②：観光は近隣から・日帰り観光が多数を占める

―来訪者のうち、半数近くが大阪府内からで、近畿地方からは約70％となっている。それ以外は、神奈川 6 件、東京 4、三重・香川・長野・千葉・広島・岡山が3と続き、エリアに大きな偏りがみられない。（観光動向調査）

―来訪者のうち90％超が岸和田市においては日帰り観光となっており、近場からは日帰り、遠方からは周遊観光の中の立ち寄りという可能性がある。（観光動向調査）

③：宿泊施設は小規模・ビジネス中心、事業者は市の認知度を課題としている。

―②の一方、小規模が中心ながら、インバウンドを含め宿泊施設が約20ある。ただし、現在はビジネス利用が多いほか、市でも認知されていない施設も多い。（宿泊事業者調査）

―宿泊者満足度向上のための受入体制が整っている施設が多く、観光振興への取組も差はあるものの一定進んでいる。一方で、事業者側は「岸和田市自体の観光地としての認知度が低い」といった点を課題としている。（宿泊事業者調査）

④：非来訪者からの来訪意欲は高くなく、イメージは「祭り」「だんじり」となっている。

―来訪者の満足度・再訪意欲は高い一方、非来訪者の来訪意欲は 3 年前から伸びていない。（非来訪者 WEB 調査）

―市のイメージは「祭りのまち」が74．4％と突出し、知っている施設・祭り等についても「だんじり祭」が75．2％となっている。一方、来訪者の楽しみは、「名所旧跡・歴史」の割合が高い。（非来訪者 WEB 調査　観光動向調査）

―来訪意欲がある人の理由も「だんじり祭・祭り文化に関心があった」が71．8％と最も多くなっている。一方で、「多くの人がきてもらうための方法」を尋ねた際に、「市のイメージ向上」が 2 位に位置している。（非来訪者 WEB 調査）